

# 平成27年度 決算報告

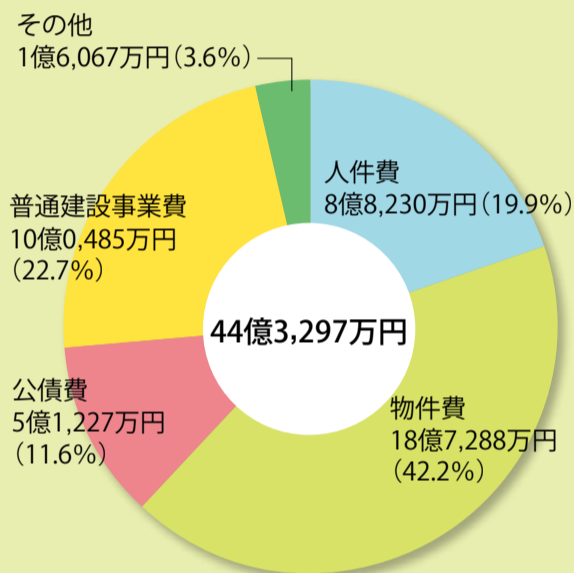
44億3,297万円

歳出

前年度比16億1,522万円  
(26.7%)の減少

平成27年度は、折居清掃工場更新事業の進捗、クリーン21長谷山の改修整備事業による増加がありました。粗大ごみ処理施設更新事業が完了し、普通建設事業費が13億5,627万円減りました。

また、定年退職者の減少、並びに組合債の償還が進み歳出の大幅な減少につながりました。



平成27年度は、プラスチック製容器包装資源化処理を開始するなど、構成市町と連携・協同して適正な廃棄物処理を進めました。

また、将来にわたる安定的な廃棄物処理のため必要な整備事業を実施するとともに、着実な行財政改革による歳出抑制に努めました。

下の金額が管内住民の皆さんの1人当たりの年間の経費負担額です。

し尿処理	1,609円
ごみ処理	6,644円

※管内人口 373,213人（平成28年4月1日現在）



## 平成27年度の主な取り組み

▼新折居清掃工場  
完成イメージ図

①折居清掃工場更新事業の  
建設工事の着工

②し尿等の下水道排水  
に向けた協議

③ごみ発電及びプラスチック製容器包装の  
資源化処理の実施による循環型社会の更なる推進

④環境ISO14001適合自主宣言に基づく活動及び  
地球元気プラン（第3期）の推進

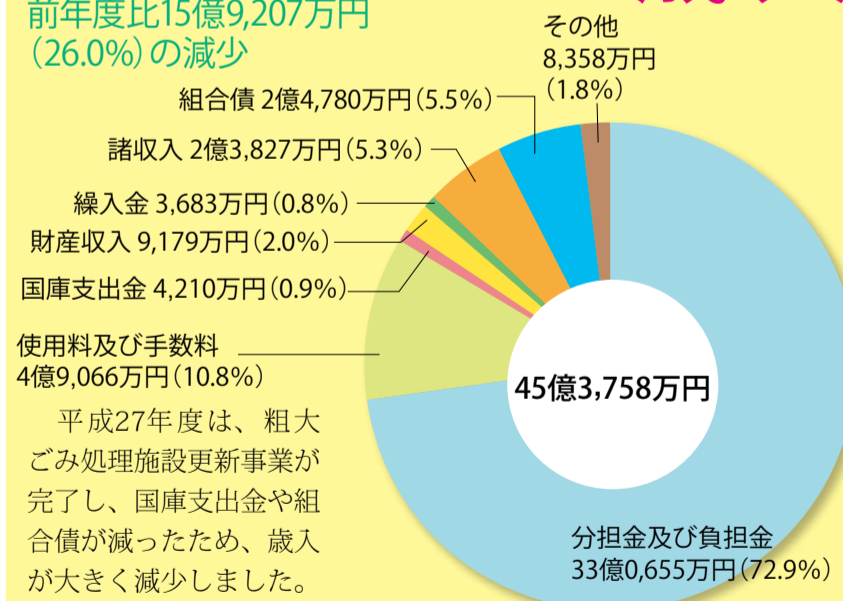
⑤安心安全な廃棄物処理に対する職員の意識改革・能力  
向上による組織力の強化



45億3,758万円

歳入

前年度比15億9,207万円  
(26.0%)の減少



平成27年度は、粗大ごみ処理施設更新事業が完了し、国庫支出金や組合債が減ったため、歳入が大きく減少しました。

また、経済動向の影響から資源物売払収入が大きく減りましたがクリーン21長谷山の発電収入が増えたこと等により、分担金及び負担金は前年度比2億5,691万円（7.2%）の減少となりました。